時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

時事新報

第二千六百四十六號
明治廿三年五月六日　火曜日
舊暦庚寅三月十八日（丁亥）
（西暦一千八百九十年）

時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ每月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

工學會臨時大會

工學會は去る三日を以て臨時大會を開きたる由あるが目下勸業博覽會開場の折柄と云ひ特に我國の諸工業は近年著しき進歩を爲し土木、鑛山、造家、造船、電氣工業等を始め築港と云ひ水道と云ひ或は又市區改正と云ひ凡そ文明的の大事業にして工學の範圍外に出づる者極めて稀なるが故に世上一般漸く工學の重きを知りて之れに着目するの氣合もあり又此度は思召を以て宮內省より金若干圓を下賜せられ世上人氣の致す所、彼の紳商輩までも共に好意を工學家に通じて優待の道を盡さんと思ひ立ちたる者あるが如き何れも斯道繁昌の兆にして我輩の竊ゝ欣喜する所のものなり我輩會て西洋諸學會の模樣を見るに彼の國々にては學者相會して互に其向きの智識を交換するに止まらず其智識を成る可く世上一般に廣布して最大衆と共に其利益を與にし其好尙を同うして共々共道の發達を期せんとするもの〻如し例へば醫學工學美術其他諸學派の大會は會期を通常一週間と定め尋常會員の其外に臨時切符を發行して此切符を持參する者は會期中準會員として會場に出入し若くは他の招待に應じて會員同樣之れに出席することを得るの趣向なるが故に學會開場の地方にては通常人の縱覽を許さ〻る製造場、美術館等を始め何れも之を打ち開て右の會員たる者に示し或は舞踏會と云ひ或は園遊會と云ひ或は公私の宴會と云ひ地方人民相率ゐて其の東道の主人と爲り優待厚遇の意を表するは勿論、其學會の種類に因り之れに緣故ある人々は一週間內演說を開き又討論會に參し學理實驗上に於て有益なる意見を耳にするの外に之を機會に諸學者を迎へ或は造船或は紡績或は金銀諸細工より電氣諸機關等に至るまで遍く工場を案內して夫れ〱其說の在る所を聞き學者は實際場に入りて自から發明する所あり實業家は學理の適用を發明して更に利益する所あり是に於てか學理實際相離る可らざるを悟りて雙方密着の關係を生じ以てます〱其說實進歩を促すが故に文明學者集會の物益、國家實業の發達の爲めに明晰顯著その助勢する所實に莫大なるを見る可し然るに今回の工學會に就ては[illegible]たる東京の實業家諸氏を始めとして同會員を招待するの趣向もあり又實地東京灣築港上の撿分を爲さんとするの都合もありなど云ふが如き從來學者の集會に一夕の演說實遊を以て忽ち集り忽ち散じ其利益の廣く一般に行き渡らざりし其風儀を一變して西洋學者集會の趣向を導きたる者にして今後工學會のみに限らず凡そ學者の集會に此趣向を採用するもの益ゝ其數を增すに隨ひ學理と實業とをして互に相密着せしむるの端を開くことを得べきか斯くて此流の集會法を我國に導きたるは實に今回工學會諸氏の力なるが故に諸氏は今後會場を單に東京のみに限らず大坂、名古屋、京都、仙臺等を始めとして年々歲々その場所を移し老功鍛練なる工學家が會場に陳述したる新說を以て互に其智見を開き工學上の進歩に大影響を與ふると同時に其學理を實業に當て稍め日本國中一般に其新智見を布及すること最も肝要の事なるべし又世上一般の人も學者を見ると高きに過ぎて敬して之を遠くるの弊習を改め我れより之れに接近して其專門の學理を問ひ一會又一會互ゝ學者と實業家とを密着して相共に事業の進歩を期せざる可らず一歩を進めて考ふるに凡そ今日の大工事は金を要すること莫大にして一時に成就す可きに非ざれば工學會の如き團體は築港あり市區改正あり其他國家の大工事に關して豫め大計畫を定め置き其道に不案內なる政治家輩が時に容喙することあるも工學社會の輿論を以て其豫定を變更することを許さず目的を一ゝし運動を共ゝして屈せず撓まず國家永遠の大工事を成就するの覺悟なかる可らず工學者の責任實ゝ重し我輩も亦之れに屬望すること極めて大なるが故に今回臨時大會の盛んなるを聞見して國家の爲めゝ之を賀し且つ一言卑見を陳ずること然り

官報

〇司法省告示第十四號

明治二十二年本省告示第十號中橫濱始審裁判所管內八王子治安裁判所府中出張所裁判ハ當分不開廷ノ處明治二十三年五月ヨリ開廷ス

明治廿三年五月五日　司法大臣伯爵山田顯義

雜報

〇愛知縣下の政況　愛知縣下尾參兩州一市十九郡に於る衆議院議員の撰擧區は其數十一に別れ每區一人宛を撰出すべき筈にて最近の調査に係る各撰擧區の撰擧人員を聞くに第一區なる名古屋市は五百三十七人、第二區愛知郡は二千百三十一人、第三區の內東春日井郡は一千五百人、西春日井郡は一千二百九十一人第四區丹羽葉栗兩郡は共に一郡衙の下に在りて總て一千六百四十九人、第五區中島郡は二千七百人、第六區海東海西兩郡亦共に一郡衙ゝ屬して二千四百九十人第七區知多郡は一千九百十八人（以上尾州）、又其の第八區の內碧海郡は二千二百六人、幡豆郡は九百四十二人、第九區の內額田郡は六百一人、東加茂郡は百三十二人、西加茂郡は五百八十三人、第十區の內南設樂郡は百四十六人、北設樂郡は四十三人、寶飯郡は六百六十六人、第十一區の內渥美郡は四百四十一人八名郡は二百二十二人（以上參州）ゝして通計二萬百九十八人あり而して右各撰擧區に於ける候補者ゝ就ては世間の噂とり〱にして未だ確定せざれど今姑く其聞き得たる處を擧ぐれば第一區名古屋市にては現任法制局書記官水野遵非職外務秘書官加藤高明、前縣會議長奧田正香、舊名古屋區長吉田祿在市會議長堀部勝四郎金城社監督高橋顯造、非職德島縣知事僴井明、市參事會員片野東四郎、縣會議員美濃部貞亮第二區愛知郡は文部秘書官永井久一郎、前縣會常置委員加藤勝叢、町長小塩幹、第三區東西春日井兩郡にては豪農天野佐兵衛、縣會議員大嶋宇吉、農梶田喜右衛門第四區丹羽、葉栗兩郡は縣會議員宮田愼一郎、前郡長松山義根第五區中島郡は前縣會議長森東一郎、同郡部會副議長小塚逸夫前郡長日比野明、第六區海東西兩郡は前郡長靑樹英二、縣會常置委員加藤喜右衛門、縣會議員三輪重秀、第七區知多郡は前縣會議長端山忠右工門、町長矢野伊左衛門、豪農中野又左衛門第八區碧海、幡豆兩郡は前縣會議長內藤魯一、縣會議員早川龍介第九區額田及び東西加茂三郡は縣會市部副議長國嶋博、日本人記者志賀重昂、縣會議員福岡精一、宮野爲長高橋鍵三、第十區南北設樂及び寶飯の三郡は古橋源六、豪農中尾十郎第十一區渥美八名兩郡は郡部會議長鈴木麟三、大同派同村松愛藏等の諸氏孰れも候補者として世人に注目せられ尙は此外にも候補者を以て自ら任ずるの士少からざるが如し現今同縣下に在る諸團體は名古屋倶樂部（自由派）愛知大同團結、愛知立憲改進黨、談話會、獨立倶樂部等にして孰れも其事務所を名古屋ゝ置けり右の內名古屋倶樂部は純然たる再興自由黨派にして內藤魯一、國嶋博、美濃部貞亮等の諸氏其重立ちたる會員なり又愛知大同派は尾の海東西郡及參の岡崎、豊橋、田原等に黨員多く田嶋象二、村松愛藏、福岡精一、三輪重秀等の諸氏所在の立役者となり今度の縣會議員撰擧に於ては海西、渥美、加茂、設樂等の各郡孰れも同派員の勝つ所となりたり改進黨は其黨員最も少き樣子にて現に同黨員中縣會議員又は市會議員たるものは僅かに兩三名に過ぎず昨年十月より同黨の人々が發行したる愛知新報の如きも爾來未だ一年にもあらざるに此頃既に廢刊せり次に談話會は名古屋市中の豪商を網羅して其數百六七十名に達し奧田正香、吉田祿在等の諸氏其中心となり議員撰擧の折など聞々勢力を示せり獨立倶樂部は高橋顯造氏等の首唱に係り中正不偏の主旨を以て起りたれど近來は談話會改進黨など〻氣脈を通じ自由派を敵視して雙方全く相容れず又右の自由黨派と大同派との間柄は近頃何となく折合惡しく互に反目嫉視し動もすれば相傷中せんとするかの觀なきにあらず例へば今回の縣會議員撰擧に於て談話會、改進黨、獨立倶樂部の諸派合同して同志會と稱し以て自由黨派に當りし時の如き大同派も亦自由黨派に反對して殆んど同志會と類似の方向を執て運動せり次に同縣下の日刊新聞は三にして月次刊行の雜誌もあり此の內扶桑新聞は田嶋象二氏主筆となりて大同團結の主義を執り新愛知は純然たる自由黨派の機關ゝして、小室重弘、八木重治の二氏主として編輯に從事し又金城新報は自から中正不偏なりと稱して何れの團結にも加盟せず、同社にては是れ迄憲政黨出身の北川[illegible]氏其の主筆たりしが、近日同氏は之を辭して東京に歸りしかば目下其編輯は社長竹內秀七氏及び中田豪晴氏之を擔當せり參州岡崎に於て發行する所の民之心と云へる雜誌は大同派員石原...

氏、專ら其
議員の選擧
べしとは豫
名古屋、海
市は同縣の
に自由黨派
盡すやの
ものあるべ
職して肩身
が飽迄之ゝ
るべき者あ
の二氏相對
は、豫て自
ありしかど
るより鷸蚌
競爭は又一
名の內現今
衛門、伊藤

〇傍聽人扣
扣席を臺
着手したる
に三百人を

〇頌榮女學
にては去る
を執行せし
外人を合せ
いて卒業生
り又來賓中
り終りに生
一月以來校
する目的に
者あかりし

〇桑葉に關
二十六日降
ほし養蠶家
しかば同縣
して不足の
く低廉なら

〇歐洲染物
然れども數
其分なるよ
しが此四五
之を世に傳
「グレイン」
發明は昨年
在來の染法
進歩は多く
木等に比せ
等の多數は
能はざるべ
たるは僅に
在來の方法
を饒めなば
あり
染物場は大
の不便なる
を識別する
內は立ち昇